



令和 7 年 1 月 6 日

市政記者クラブ 様

消防局救急部救急課

担当：市原 宇都木

TEL : 972-3552

～ 令和 6 年中の救急出動件数が過去最多を更新 ～

【ポイント】

- 年間の救急出動件数が過去最多を更新
- 発熱を伴う救急患者の搬送人数が急増し、救急搬送困難事案が増加
- 病気やケガの予防と＃7119の活用

【救急出動件数】 ※令和 6 年は速報値

令和 5 年	令和 6 年	前年比
155,776 件	160,212 件	+4,436 件 (2.8%増)

※過去最多であった令和 5 年の救急出動件数を更新

令和 6 年 11 月	令和 6 年 12 月	前月比
12,283 件	16,079 件	+3,796 件 (30.9%増)

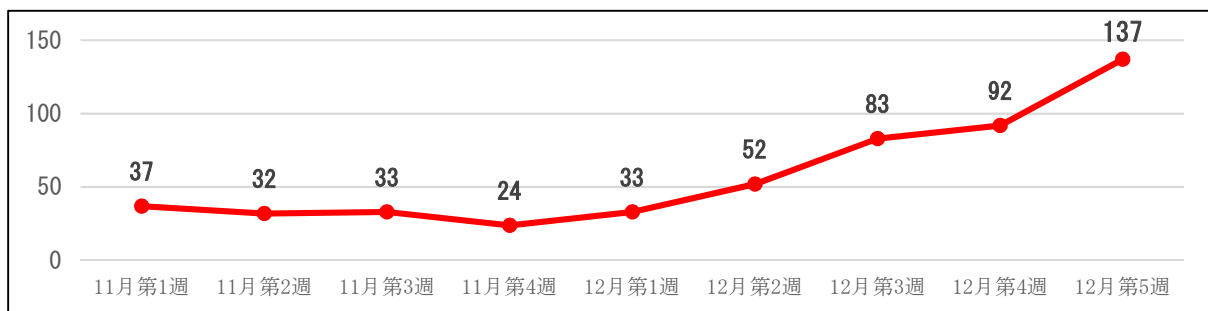
※12 月の救急出動件数が激増し、一時的に出動可能な救急隊が残り 1 隊のみになるような事態が発生！

【特徴的な事項】 ※令和 6 年は速報値

- 発熱を伴う救急患者の搬送人数が増加

令和 6 年 11 月	令和 6 年 12 月	前月比
1,647 人	3,272 人	+1,625 件 (98.7%増)

- 令和 6 年 12 月から救急搬送困難事案が増加



※救急搬送困難事案：救急隊による病院受入照会 4 回以上かつ現場滞在時間 30 分以上の事案

【市民の皆様をお願いしたいこと】

- 救急車の稼働率が 80 %を超えるような場合（出動可能な救急隊が 10 隊未満）には、SNS を活用して「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」を発信します。このような場合には、救急車が現場に到着する時間が延伸する場合があります。



- 手洗いや適度な換気など基本的な感染防止に努め、ヒートショック、急性アルコール中毒、室内での転倒など病気やケガの予防に心がけられたいとともに、真に救急車が必要な場合はためらわず救急車を要請するようお願いします。

- 「今すぐ病院に行った方が良いのか」、「救急車を呼んだ方が良いか」など判断に迷った場合は、救急電話相談窓口「＃7119」の活用をお願いします。